

(広報資料)

大学同時

平成18年6月30日

総合企画局

〔担当 プロジェクト推進室〕
〔電話 222-3103〕

平成18年度「大学地域連携モデル創造支援事業」の認定について

京都市では、「大学のまち・わくわく京都推進計画」に基づき、(財)大学コンソーシアム京都と協力して、平成16年度から「大学地域連携モデル創造支援事業」を実施しています。

この事業は、大学・短期大学や地域の団体から、大学と地域が一体となったまちづくりや地域の活性化を目的とする事業を募集し、選定のうえ助成金の交付をするものです。今年度は、17事業の応募があり、その中から、9件を支援対象事業として認定しました。

つきましては、下記のとおり、認定式を行いますのでお知らせします。

記

1 認定式について

(1) 日時 平成18年7月12日(水)午後1時から2時まで

(2) 場所 市役所第一応接室

(3) 出席者

(採択事業の申請者)

大学関係者、学生等

(選考委員会及び京都市側)

佐々木嬉代三 立命館大学教授(選考委員会委員長)

上原任 京都市副市長

葛西宗久 総合企画局長

谷口三夫 京都市上京区長

2 選定事業

	行政区	事業名	申請者	事業概要
1	北区	七夕まつり IN 上賀茂神社	京都産業大学 市川貢ゼミ 「京の輪プロジェクト」	子どもたちが運営する縁日の企画等により、上賀茂神社の七夕まつりを学生と地域住民が協力して盛り上げ、まつりを継続させるための基盤づくりを進めるとともに、地域の活性化を図る。
2	上京区	地域連携フィールドワーク (1)でまちなじむ	立命館大学産業社会学部 乾ゼミ	イベントへの参加や地域のフリーペーパー発行等を通じて、学生を中心とするワンルームマンション住民の地域への関心を高めるとともに、地域住民との交流を図り、まちづくりの輪を広げる。
	南区	地域連携フィールドワーク (2)わがまち 吉祥院		「安心・安全まち歩き」や「ふれあいジャンボリー」等のイベントを通じて、既成の地域団体の枠を超えた新たな住民ネットワーク（「吉祥院ファンクラブ(仮)」の結成を提案）を形成し、既成の団体と協同でまちづくりを行う。
	右京区	地域連携フィールドワーク (3)梅津カーニバル		住民が文化活動を発表・共有する場を設けることで、地域住民に新たな交流を生み出し、地域への愛着を醸成してコミュニティの強化を図る。
3	左京区	生ごみコンポストによる 都市型コミュニティモデルづくり	京都府立大学人間環境学部 食事学研究室	地域コミュニティづくりを目指して、生ごみの減量化と資源としての活用に向けた実践プログラムを作成し、小学生による生ごみを利用した京野菜づくりや、地域における生ごみ減量化やコンポストづくり等の事業を行う。
4	中京区	市民合意型の美しい都心 界隈の景観ルールづくり	立命館大学産業社会学部 石本ゼミ姉小路班	美しい都心界隈の景観を維持継承するため、建築協定の見直しに向けて、現協定の検証、アンケート調査、見直し案の作成等の取組を行う。他の建築協定地区においてもモデルとなる取組を目指す。
5	東山区	「緑」の交流	京都女子大学現代社会学部 依田ゼミ	空き家の増加に象徴される地域の魅力低下に対処するため、地域の空いた空間を「地区の坪庭」と位置づけ、デジタルイメージを利用した写真の展示を行って地域の方の意見を求め、町並み提案を行う。
6	下京区	人づくり・町づくりプロジェクト 地域住民主体の京都駅 周辺地域活性化計画	龍谷大学 京都駅周辺地 域活性化総合調査チーム	アンケート調査や児童の作品展を通じて、東西両本願寺周辺に形成された2つの門前町を、地域住民を主体にした1つの町に変貌させるとともに、幅広い世代の地域の住民及び事業者が、まちづくりに積極的に関心を持つきっかけを作る。
7	下京区	祇園祭綾傘鉦をもりあげ る京都学フィールドワーク	佛教大学 八木研究室 (有志学生)	鉦町の住民減少や高齢化の問題に際して、綾傘鉦保存会の運営に学生が全面的に参加することで、住民から生きた知識を学び、その成果を情報発信するため、日・英・中・韓の各国語のパンフレットを作成する。
8	右京区	愛宕古道街道灯し	京都嵯峨芸術大学 環境 デザイン研究室	学生と地域住民が共に祭り（愛宕古道街道灯し）をつくりあげていくことを通じて、歴史・文化の理解や世代を超えた交流を深め、地域の活性化・智恵の共有を目指す。
9	伏見区	伏見砂川・バリエーフ リープロジェクト ～地域福祉の視点からみ た砂川学区まち歩き～	龍谷大学 地域福祉まち 歩きチーム	龍谷大学に隣接する砂川学区を、高齢者や障害者にとっても「安心・安全」な地域にするため、その手法を、地域福祉の視点による「まち歩き」や地域住民へのヒアリング等の実践活動から発見し、地域住民への発信を行う。

「大学地域連携モデル創造支援事業」助成対象事業の募集について

京都市では、昨年度に引き続き（財）大学コンソーシアム京都と協力して、「大学地域連携モデル創造支援事業」を実施します。

この事業は「大学のまち・わくわく京都推進計画」に基づき、大学と地域が連携・協働して取り組む事業で、各区基本計画にある個性を生かした魅力ある地域づくり事業と関連した事業に対し、選考のうえ助成金を交付するものです。

大学の研究室及び学生団体並びに地域住民で構成される団体から、まちづくりのための調査研究やイベントなど、大学と地域の方々が連携・協働して取り組む事業を下記のとおり募集します。

記

- 1 対象者 （財）大学コンソーシアム京都加盟大学の大学部署，研究室，ゼミ，クラブ及び学生サークル並びに地域住民で構成される団体・グループ
1年程度以上の活動実績及び自己資金を有し，適正な経理処理，事業報告ができること
- 2 対象事業 次のいずれも満たす事業とします。
大学又は地域団体等が実施する，大学と地域住民が連携・協働して取り組む事業で，各区基本計画にある個性を生かした魅力ある地域づくり事業と関連したもの。
平成18年度中に京都市内で実施されるもの。
ただし，政治活動・営利事業等を目的とするものは除く。
例）保健・福祉，社会教育，まちづくり，学術・文化・芸術又はスポーツの振興，環境保全，地域安全等の様々な分野における調査研究，市民講座，イベントなど
- 3 選考方法 選考委員会による応募書類の審査
- 4 助成件数 5～10件程度
- 5 助成金 1件につき概ね10～30万円の範囲で助成金を交付
- 6 申請方法 区役所・支所，キャンパスプラザ京都で配布している支援申請書に必要事項を記入の上，必要書類を添付し，（財）大学コンソーシアム京都に提出。
各区基本計画との関連について，事業開催地域の行政区と意見交換を行い，その内容を申請者が記載。
ただし，複数の大学等又は団体等が連携して助成対象事業に取り組む場合は，いずれかの大学等又は団体等が代表して応募すること。
- 7 受付期間 平成18年5月2日（火）～6月4日（日）（必着）
- 8 選考委員会委員名簿（五十音順）

委員	大木 裕子	京都産業大学経営学部助教授
委員	大島 祥子	スーク創生事務所代表
委員	葛西 宗久	京都市総合企画局長
委員長	佐々木 嬉代三	立命館大学教授
委員	谷口 三夫	上京区長（当番区）
委員	吉澤 健吉	京都新聞社編集局次長

過去の採択事業について

	対象区	申請者名	事業名	事業概要
平成16年度	山科区	京都橘女子大学	関西女性と希望のアーティストファイル4：移動アーツ計画	地域の祭りへの参加等、地元商店街や神社などとのアートを通じての連携活動。
	伏見区	龍谷大学	SMAP計画 「チーム・たまり場」、 「地域元気」	竜馬通り商店街における委託販売店の運営や、「伏見の酒蔵で絵はがきコンテスト」を開催。
平成17年度	北区	京都産業大学 馬術部	アニマルセラピーへのとりくみ	アニマルセラピーにより、不登校傾向にある中学生等の子供達や様々な問題を持つ子供達の心を癒す。
	上京区	同志社大学 文化情報学部 鋤柄俊夫研究室	京都どまんなか - 未来へ伝える上京知恵袋プロジェクト	上京に伝わる様々な文化情報を、学生とボランティア団体が協働して収集し、パンフレットの作成等を通じて、日本文化の魅力を再発見を促す。
	左京区	京都造形芸術大学 全学科目教職センター	多世代の交流による参加型造形ワークショップ	学生、教員と参加者が、様々な素材を使っての芸術活動を通じて交流を図ることで、大学と地域社会との信頼・協力関係を強める。
	下京区	京都ビオトープ研究会	ビオトープ梅小路公園いのちの森での自然体験学習	梅小路公園内のビオトープいのちの森での自然観察会を行い、自然環境に対する認識と理解をより高く深いものとする。
	下京区	龍谷大学 西本願寺門前町 総合調査チーム	GARE 門前町活性化プロジェクト	地域の伝統工芸品製作技術等を活用し、新たな門前町グッズ・サービスを発掘・考案し、門前町活性化の方策を考え、「にぎわい」を取り戻す。
	南区	立命館大学 産業社会学部 石本ゼミ上鳥羽班	向こう三軒両々隣り - 安心安全の数珠つなぎマップ作成	上鳥羽学区全体の取組として展開を図り、講演会や「安心安全の数珠つなぎマップ」の作成等、住民が主体となった「安心・安全のまちづくり」を進める。
	右京区	京都嵯峨芸術大学 芸術学部造形学科メディアアート研究室	太秦ヌーヴェル・ヴァーグ・プロジェクト	NPO団体と連携し、学生たちの視点からとらえた太秦の伝統文化の魅力を映像作品として仕上げ、太秦地区の地域振興に役立てる。
	右京区	京都嵯峨芸術大学 短期大学部 インテリアデザイン研究室	愛宕古道街道灯し	学生と地域住民が共に祭り（愛宕古道街道灯し）をつくりあげていくことを通じて、歴史や文化への理解や相互交流を深め、地域の活性化、智恵の共有を目指す。
	右京区	立命館大学 産業社会学部 乾ゼミ 梅津班	梅津再発見！	住民を巻き込んだタウンウォッチングを行い地域の人が梅津の良さを再発見し、学生が地域活動についての理解を深める。
	伏見区	龍谷大学 REC	高大連携 Fushimi サイクリングツアープロジェクト	文化観光資源を自転車で結ぶ観光ネットワークを大学生・高校生・伏見区民によって発掘し、「伏見自転車マップ」として発信し、地域の活性化につなげる。

